

令和6年度一般財団法人佐渡文化財団事業計画

I 基本方針

新年度は、令和4年度から実施している市内の文化・芸能団体の調査結果を更新しながら佐渡文化財団アクションプラン及び佐渡市文化振興ビジョンアクションプランに定められた事業に取り組み、佐渡の豊かな文化の保存・継承の支援を進めていきます。

前年に引き続き、次世代の担い手作りや後継者の育成を念頭に置いた講習会やワークショップ等を実施します。また、中学生にとって既存のキャリア教育事業と文化部活動の地域クラブ移行実証事業が有効かつ効果的な意味を持つよう取り組んでいきます。

設立から5年を経て、これまで財団で築いた実績と成果を披露する新事業を開催し、より市民への認知度向上と今後の展開に向けた原動力とします。

不在となっている常勤役員を選任に向けた取組みを通して自立した組織体制を確立し、賛助会員の拡大や助成金・補助金を活用した事業展開など安定的な財団運営に努めていきます。

II 総務概要

健全で安定的な運営体制の構築

【事業の趣旨・方向性】

これまで不在となっている常勤役員（専務・常務）の選任に向けた取組みにより、安定した財団運営を展開しながら事業を進めていきます。

経常収益の拡充のため、目標値を設定し、その目標値を達成する行動を起こします。

【令和6年度における具体的業務】	
(1) 組織体制の安定化	
(2) 収益事業の拡充	
【令和6年度における予算額】	
(1) 人件費 16,944 千円	18,055 千円
(2) 事務費 1,111 千円	16,944 千円
	1,111 千円

III 事業概要

1 伝統芸能の継承者育成

【事業の趣旨・方向性】

佐渡に残る伝統芸能の継承について、少子高齢化が進む佐渡においては最重要課題となっています。市内の文化団体・芸能保存会の現況調査結果を基に各団体へのヒアリングを重ね、課題を分析し継承に必要な事業や支援に取組みます。

【令和6年度における具体的業務】	
(1)	市内の文化団体・芸能保存会に係る調査結果の更新
(2)	既存連盟団体の支援と各種芸能団体のネットワーク化 佐渡人形芝居定期公演支援、芸能アーカイブの活用、新潟・首都圏等の芸能団体紹介、その他イベントへの派遣出演支援
(3)	映像記録 神事や観光祭などで披露される芸能の記録、佐渡の文化・芸能に長年携わっている経験豊かな方へのインタビュー記録
(4)	担い手育成、指導者養成
(5)	上演の場の創出（自主事業兼） EC公演（受託事業）、第7回佐渡民謡の祝祭（受託事業）、国民文化祭への派遣、首都圏との文化交流事業（受託事業）
【令和6年度における佐渡市文化振興ビジョンアクションプラン取組】	
(1)	「インターネット配信などを活用したハイブリッド公演」 目標値：検討・試験実施 福祉施設等をつないだハイブリッド配信や本公演前の予告編としての配信等を検討する。
(2)	「NPO等の文化振興組織間の情報共有」 目標値：市との連携及び積極的な意見・提案
(3)	「国民文化祭や県民文化祭の活用」 目標値：団体の出演 2団体
(4)	「個々の伝統芸能保存団体が連携するネットワークを構築する」 目標値：芸能団体の情報の新規収集 30件
(5)	「伝統文化の継承等への功績顕著な個人や団体に対する表彰制度」 目標値：受賞者数 3人
【令和6年度における予算額】	567千円（うち市補助対象537千円）

2 伝統芸能の常設披露にむけた上演の場の創出

【事業の趣旨・方向性】

財団がこれまで行ってきた人材育成を目的としたワークショップから「鬼太鼓」「佐渡の人形芝居」「佐渡民謡」について一堂に開催する日を設け、観

光客も参加しやすい文化ツーリズムの側面をもたせます。また、伝統食の販売・飲食も同時に開催し集客を図り、常設化に向けたデータ（アンケート）を収集し分析します。

【令和6年度における具体的業務】	
試験的常設披露の実施「佐渡芸能・佐渡伝統食に触れる一日」（仮）実施	
【令和6年度における佐渡市文化振興ビジョンアクションプラン取組】	
「伝統芸能がいつでも誰でも鑑賞できる拠点づくり」 目標値：施設における芸能披露実施数 5件 上記、事業を含め芸能を披露する企画を実施する。単独のみならず他関係者との共催、連携も含む。	
【令和6年度における予算額】	1,009千円（うち市補助対象1,009千円）

3 キャリア教育支援及び文化活動担い手育成

【事業の趣旨・方向性】

子どもたちは、佐渡の本物の伝統文化に触れることで素晴らしさを感じ佐渡固有のアイデンティティを確立していきます。年々、子どもたちが文化・芸能に触れる機会が減少していることから、授業や課外活動で文化・芸能を取扱う学校や教育機関に対して芸能関係者の講師派遣や和楽器貸出等により、文化的なキャリア教育を支援していきます。

また、市民が文化的な事業に参加できるよう伝統芸能の学習研修会や伝統工芸のワークショップを開催し、継承者の養成に努めます。令和2年度から継続している就労支援事業も関係機関と連携しながら進めていきます。

【令和6年度における具体的業務】	
(1) 学校等への講師派遣、紹介。支援策（講師派遣）の充実	
(2) 学校、一般等への和楽器等貸出	
(3) 市民が文化・芸能に興味・関心を持てる各種ワークショップの開催と継承者の育成	
(4) 就労支援として製造から販売までの循環システムの構築（継承活動）	
(5) 中学生の文化部の地域クラブ実証事業の推進	
【令和6年度における佐渡市文化振興ビジョンアクションプラン取組】	
(1) 「幅広い分野を幅広い世代が学ぶことができる学習機会の提供」 目標値：市民の学びの場の提供 財団が主催する講習会、研修会等と兼用	
(2) 「佐渡文化財団の行う伝統芸能等のワークショップの実施」	

目標値：ワークショップ等の実施 10件 財団が主催する講習会、研修会、ワークショップと兼用	
(3)「佐渡学のアウトプットの場の設定」 目標値：アウトプットの場 市、教育委員会等と調整し、実施。その後、修正する。	
(4)「子どもが触れる伝統文化親子教室の創出・充実」 目標値：伝統文化親子教室の実施 1件 佐渡人形芝居親子教室の実施。	
【令和6年度における予算額】	665千円（うち市補助対象665千円）

4 支援会員の拡大

【事業の趣旨・方向性】

佐渡文化財団の認知度向上と賛助会員の増加に向け、定めた目標値に向けて積極的に営業活動を行います。

【令和6年度における具体的業務】	
(1) 既存会員の更新（4月）	
(2) 財団の認知度向上と賛助会員加入促進活動	
(3) 特典の充実	
【令和6年度における予算額】	567千円（うち市補助対額0円）

5 情報発信の強化

【事業の趣旨・方向性】

佐渡の状況がわかるタイムリーな発信と佐渡文化財団の取組を理解していただく発信に努めます。情報を届けるターゲットを認識し、また新たなターゲットを獲得するための活動を行います。

【令和6年度における具体的業務】	
(1) 見やすく検索しやすいホームページの改良	
(2) ニュースレターの継続発行	
(3) フォロワー数増加につながるSNS発信と充実	
【令和6年度における予算額】	490千円（うち市補助対額0円）

その他

【事業の趣旨・方向性】

自主財源確保及び経営基盤の確立にむけ、佐渡の文化・芸能を活用した受託事業や物販事業の積極的な企画・提案を行い収入の確保を図っていきます。

また、令和3年度から継続している茅葺き振興の集大成として茅葺きフォーラム（全国大会）を誘致し、プラットフォーム構築に係る関係者の機運の醸成に努めます。

【令和6年度における具体的業務】	
(1) アース・セレブレーション 公演業務（受託事業）	
(2) 佐渡人形芝居親子教室（文化庁補助金申請）	
(3) 茅葺きフォーラム（全国大会）の誘致・開催	
(4) 物販事業、ふるさと納税、クラウドファンディング等の活用	
(5) その他、事業費（按分）	
【令和6年度における予算額】	6,421 千円（うち市補助対額 807 千円）